

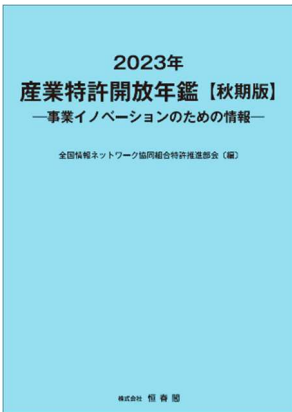
2023年 産業特許開放年鑑【秋期版】

—事業イノベーションのための情報—

全国情報ネットワーク協同組合特許推進部会〔編〕

中小企業や個人事業者が戦略的な経営設計をする際の
『希望の道しるべ』!

- 中小企業がこれまで以上に付加価値の高い製品、商品やサービスを生み出すためのイノベーション戦略を考える上で必要な情報が満載。
- 起業家や経営コンサルタントなどの方々が新製品の開発やサービスの支援、再生化事業等を行う際に役立てることが可能。
- 独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT:インピット)の協力の下、中小企業における知財戦略、ベンチャー企業育成、知的財産実務サポート、知的財産検索機能の使用方法など有効かつ必要な情報を掲載。



B5判/448 ページ
●定価:8,800円(本体:8,000円)
ISBN978-4-910899-07-7

発行:株式会社恒春閣 <https://www.koshunkaku.co.jp>

特許出願 公開番号	昭57-99201	公開日	昭和57年6月19日 (1982/6/19)
失効特許 発明の名称	スプリング式バネによる タービン付き自動空圧機関	発明のおおまかな 全体像を説明	
1. 失効特許の説明の概要 本発明は、所定の気筒内に装備するスプリング式タービンに瞬間的圧搾空気を生み、その空圧エネルギーを機械的エネルギーに転換する自動空圧機関に関するものである。			
2. 失効特許の発明が解決しようとする課題 従来一切頼らず空気の持つ物理的エネルギーで動力化する、身体障がい者の車椅子および自転車の長距離補助機関およびポータブル式自家発電機が考案されていなかったこと。			
3. 失効特許の発明を活かせる商品やサービス 車椅子や自転車など、比較的小さい動力を必要とする場面で利用。			
4. 失効特許の発明の効果 複数気筒には「並列機構」の方法が比較的容易な利点があり、強固性に富み、動力の伝達、回転数の増減を計ることができる。 各気筒より排出する圧搾空気をシャフトに固定する空気タービンに導入して補助機関とすることもできる。 蒸気機関と異なり、大気中の空気をエネルギー源とし、その物理的エネルギーを自給、自作することで自己の力を還元しながら仕事を得ることができる。			

発明に至った問題点や経緯を説明

発明が生かせるものの具体例を列挙

発明の効果を直接的、間接的、客観的な視点から説明

QRコードから、公開特許の情報が閲覧可能
(J-PlatPat より)

注文書

ご注文は FAX:03-3517-4500 または メール:info@net-coop.jp

書名	2023年 産業特許開放年鑑【秋期版】 —事業イノベーションのための情報—	冊数	冊
	税込販売価格:9,500円(定価:8,800円+送料一律:700円)		
お届け先 〒	ご注文日: 年 月 日		
ご住所			
フリガナ お名前	TEL:		
	FAX:		
メールアドレス(必須):			
支払い方法(いづれかに○): 1.クレジット決済 2.コンビニ払い 3.銀行振込(振込手数料はご負担ください) ※1,2.はメールアドレスへ決済 URL を送信します。操作手順に従いお手続きください。 3.はメールアドレスへ振込先を送信します。ご確認の上速やかにお振込みください。			
全国情報ネットワーク協同組合 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 4-5-5 藤ビル 3階 TEL:03-3517-4501 FAX:03-3517-4500 https://www.net-coop.jp			